



長谷川葉子

カリフォルニア大学バークレー校

バークレー日本語プログラムでは、新しい講師の先生を選考する際、審査の一環として、ファイナリストに非文または不自然な日本語の解説をしていただいています。今回の公募でも当プログラムの先生方に問題文を考えてもらったのですが、あまりの語感の差に愕然としました。例えば、A先生がおかしいとした文は以下のものでした。

午後雨が降るのに、今日の試合は続行されるそうだ  
おすしが大好きなのに、今日は食べる気にならない  
もし、ロボットを作るとしたら、そうじやせんたくをしてもら  
明日はサンフランシスコを中心として大雨が降るそうだ

私には、これらはみな自然な日本語に聞こえました。また、B先生は、以下の会話を指摘しました。

X: やあ、久しぶり。元気そうだねえ。  
Y: そう? 毎日ジョギングしているおかげで、最近調子いいんだよ。

確かに、自分の意志でジョギングしているわけですから、「おかげ」と言うのは理不尽なはずなのですが、これも容認できると思いました。「毎日のジョギングのおかげで」と、動詞を抜いた方が自然な気はしましたが、「頻繁に病院に行っているおかげで、最近調子いいんだよ」はどうでしょうか。文法的には、そうは言うてはいないのですが、「おかげ」は病院の先生に向けられているとは考えられないでしょうか。言語表現は、現象表現から話者の気持ち（モダリティー）の表現にそのスコープを広げる傾向があるというのは、様々な言語で多く指摘されています。例えば、frankly は、本来は、**She explained the situation frankly**（彼女は率直に状況を説明した）のように使われる副詞でしたが、それがスコープを広げて、**Frankly, she won't explain it straightforwardly**（率直に言って、彼女が正直に話すとは思えない）のように、発話全体に言及するようになるといった例は枚挙にいとまがありません。

C先生は、「味噌汁の味は家族によってそれぞれ違う」がおかしいと指摘しました。確かに、この場合、「家庭」の方が自然ですが、「家族」はそんなにおかしいでしょうか。「家族の味」をグーグルで検索してみると、一億以上のヒットがありました。もっとも、最近では、非母語話者によって書かれた日本語サイトも多いので、額面通りに受け取ることはできませんが、かなり多くの日本語母語話者が「家族の味」を使っているのは事実です。それにも拘らず、これをおかしい表現とするべきでしょうか。

D先生は、「試験を取る」は困ると言っていました。私も試験は「受けて」ほしいのですが、これさえ、何とかなってしまうそうです。バークレー言語学部のカール・ジンマー教授の名言に、**Longer sentences are more grammatical** というのがあります。これは、「文が長くなると、容認できる状況が考えやすくなるから」と「長くなると、注意が分散されるから」という二つの解釈があるのですが、いずれにしても、問題のある文を長くすると容認度が上がることはよくあります。「先月会ったんだけど、公認会計士の試験を取ったとか、もうすぐ取るとか言ってた」はだめでしょうか。でも、「試験を取る」は、確かにかなり苦しい。

国際英語という概念があります。基本的な英文法に適っていれば、微妙な慣用語法に添った（イデオマティックな）英語でなくてもいいではないかという考え方です。私はこう考えざるをえない環境で仕事をしています。私の英語は通用しますし、私の書く英語文のほとんどは、かなりペダントイックな人からも非文とは言われなんでしょう。でも、私は、英語母語話者ではありませんから、

母語話者が「何となく、どことなく変だ」と思う表現を多用しているに違いありません。そういう英語は拒否されるべきものなのでしょうか。

私は、非母語話者の日本語があつてしかるべきだと思います。母語話者がなぜおかしいのか説明できなければ、その日本語は非文ではないのだと思います。先生方はどうお考えになりますか。

## 先生の紹介欄



### 先生の紹介欄

#### 真木実奈子先生

1) お名前を教えてください。

真木実奈子 (まき みなこ)

2) 教えている学校名、町を教えてください。

サンマテオにある非営利団体サンマテオ日本学園、土曜日の午前中に日本語と日本文化を5~18歳児に教える学園です。

3) 日本語教師はいつから？

園長職8年

4) ご趣味は？

ゴルフと言いたいところですが、最近は全く練習もしていないし、コースにも出ていないので、ボールが飛ばないかもしれません。あとは、時間があるときいろいろな国の料理のレシピを見ながら作ることです。

5) 日本の出身地は？

東京都の北区です。

6) アメリカに来て何年ですか。

25年です。

7) 仕事について、何か一言お願いします。

家族や周りの方々のお陰で8年間も勤めることができています。フルタイムの仕事に加え、土曜日にも学園の仕事なので大変ですが、たくさんの子供達に日本語と日本文化を学んで欲しいと思います。

8) 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

去年の秋からメンバーになりました。いろいろな学校の先生方と情報を交換し、これからの日本語教育に少しでも役に立つことができたと思います。どうぞよろしく願いいたします。

#### オブライアン真佐子先生

1) お名前を教えてください。

オブライアン真佐子、学校では、ニックネームの「ちゃこ先生」と呼ばれています。

2) 教えている学校名、町を教えてください。

ヒルズボローにあるヌエバスクール (PKから8年)。ヌエバは多重知能理論やSEL(社会性情緒教育)に基づくギフトド(才能開発)教育を行い、「Learn by doing」がモットーです。

3) 日本語教師はいつから？

2006年から日本語を教えています。2009年に専任になり新しい「日本語大好き」プログラムを立ち上げました。